

第1回札幌市大雪対応検討会議開催概要

日 時：令和4年4月11日（月）15時45分～17時

場 所：札幌市役所本庁舎 6階建設局長会議室

出席者：吉岡副市長 建設局長 危機管理部長 中央区土木部長 北区土木部長
西区土木部長 雪対策室長 雪対策室計画課長 雪対策室事業課長

1 課題に関する意見の概要

- 施工体制に関しては、ダンプトラックの確保など各マルチJVにより差が見られた。
- 災害防止協力会に応援を要請したが、排雪作業が主体なので、協力できる企業が少なかった。また、全市的に大雪だったため、区を跨ぐマルチJVの応援はシーズン後半となった。
- 主要な幹線道路やバス路線を最優先とした作業による影響があった（バス事業者から評価は高い一方で、生活道路の対応に遅れが生じた）。
- 気象状況によって雪堆積場搬入量の差が大きい（令和元年度：約10,000千m³→令和3年度：約25,000千m³）。
- 緊急用の適地があったとしても、場内整備に時間を要したことや管理業者が確保できないことなどから、開設に至らないケースがあった。
- 都心部などにおける雪堆積場の不足。
など

2 方向性に関する意見の概要

- 大雪対応の段階的なフェーズ設定の検討
- フェーズに応じた応援体制や協力体制の検討
- 優先する排雪路線の再検討
- フェーズに応じた雪堆積場の確保や開設手法の検討
など

3 今後の対応

- 次回会議（第2回）までに、昨冬のデータ検証や事業者へのヒアリングにより課題を整理し、その解決に向けた具体策等を検討する。